

2024 第 30 回幻覚&妄想大会グランプリ

広瀬雅子さんと広瀬秀幸さん

広瀬雅子さん、あなたは「苦勞のサラブレッド」（祖父、父親の酒で苦勞）の秀幸さんとデイケアで出会い、長いお付き合いの末、結婚、出産、子育て、さらには見事に秀幸さんが「お酒の苦勞3代目」を襲名する中で“無脳薬”にも挑戦し、順調に恐怖に苛（さいな）まれ、二年前には、二人の乳飲み子をかかえながら真冬に電気と灯油を止められるというべてる史上はじめての生活困窮を極めました。その中から、ペットも含めた家族関係、子育て、健康管理、お薬との付き合い方、仕事、仲間との付き合いなどについて日々、スタッフや仲間と研究を重ね、みんなと相談し、児童相談所を使いこなし、見事に復活されました。

よってここに、病床にある秀幸さん、二人のお子さんと共に、べてるの40周年にふさわしい第30回幻覚&妄想大会グランプリを差し上げます。記念品として、このたびの生活困窮をともにのり越えたペットにも感謝し、浦河産「ペット用鹿肉ジャーキー」と、頭をスッキリさせるためにはじめて新たな実験である「坊主頭スタイル」に効果がある？「冷却スプレー」をプレゼントします。

第30回幻覚&妄想大会実行委員長 松本寛

2024 第 30 回幻覚&妄想大会「三度のお茶とミーティング賞」

小川わか子さん

小川わか子さん、あなたは苦勞人を見極める高性能のセンサーと“ガハガハ”と笑う独特の笑いによって場を和ませ、苦勞人のべてるメンバーや新人職員などを自宅に招き「おがわコーヒー」をご馳走し、「わかこ流人生相談」の場を開き、大切な「地域の茶の間」として活用されています。そこから生まれた言葉や生きるワザは、当事者研究の活性化にも役立っています。このことは「三度の飯とミーティング」のべてるの理念の実践であり、べてる40周年にちなんで第30回幻覚&妄想大会「三度のお茶とミーティング賞」を差し上げます。賞品として、「おがわコーヒーセット」と「幻聴クッキー」を贈ります。

30回幻覚&妄想大会実行委員長 松本寛

2024 第 30 回幻覚&妄想大会 当事者研究大賞「なつひさお賞」

今堀彩さん

当事者研究の自己病名「緊張完璧型空気読みすぎ病」

今堀彩さん、あなたは自分を助ける、仲間を助ける「ピアサポーター」として

活躍する中で、「ピアサポートの仕事した後不完全燃焼を起こして、自分いじめが始まり、幻聴さんが増える」という現象と向き合い、研究の結果、「自分と相手との間に“壁をつくって逃亡する”」メカニズムに気づいて「人間関係の壁」職人である「1 級壁建築士」の浦山和太さんに相談され、「1 級壁建築士 2 号」をめざして研究に取り組みました。

その結果、「自分にもピアサポーターが必要である」こと、相手と同じ方向を見ながら「波長とフィーリングを合わせよう」と言い聞かせると、自然に言葉と笑顔が出るようになることを発見され、自信がよみがえり、一歩進んだコミュニケーションが取れるようになり、全道のピアサポーターにも参加することができました。

よってここに。もっとも注目すべき当事者研究に与えられる「なつひさお賞」を差上げます。記念品として、ベてる特製の「心の壁を壊せるハンマー」と、大好きな氷室京介のロックに“波長”をあわせて歌えるウクレレをプレゼントします。

第 30 回幻覚&妄想大会実行委員長 松本寛

2024 第 30 回幻覚&妄想大会「特別賞—40 周年記念賞」

ベてるの家の皆さん、これまでの40年の歩みに感謝いたします。今から40年前、お酒が辞められなかったり、精神のバランスを崩して鉄格子で囲まれた7病棟に入退院を繰り返すメンバーたちではじまったベてるの家も、「地域の苦労かかえる苦労への参画」を理念とし、80人のスタッフと140人をこえるメンバーによって仕事と暮らしを応援する事業が営まれてきました。「今日も、あしたも、あさっても、いつも問題だらけ、それで順調」ですが、「三度の飯とミーティング」を心がけ、研究マインドを大切に、これからも人と社会の安心のために働いていただければと思います。

よってここに、第30回幻覚&妄想大会を記念して、「特別賞」を差上げます。記念品として、「40周年幻聴さんバッチ」を差上げます。

第 30 回幻覚&妄想大会実行委員長 松本寛